

HAKUTEN

2020年3月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社 博展

(東証JASDAQグロース：2173)

2019年11月15日



要旨

<2020年3月期 第2四半期累計期間>

業績予想に対して営業利益以下、各区分利益が上回る

- 売上高 57億41百万円（業績予想に対して94.1%の達成率）
- 営業利益 1億55百万円（業績予想に対して172.4%の達成率）
- 受注高 76億10百万円（前年同時期に対して 27.5%の増加）
- 受注残高 46億93百万円（前年同時期に対して 39.1%の増加）

損益計算書（連結）の概要

前期比は減収減益だが、業績予想に対しては営業利益以下で予想を超過

[単位:百万円]	2019年 3月期	2020年 3月期			2020年 3月期(予想)	
	2Q 累計	2Q 累計	増減額	増減率 (%)	2Q累計	達成率 (%)
売上高	6,004	5,741	△262	△4.4	6,100	94.1
売上総利益	1,569	1,594	+25	+1.6	—	—
(売上総利益率)	(26.1%)	(27.8%)	(+1.6)	—	—	—
営業利益	266	155	△111	△41.8	90	172.4
(営業利益率)	(4.4%)	(2.7%)	(△1.7)	—	—	—
経常利益	263	154	△108	△41.2	80	193.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	218	102	△116	△53.3	60	170.2

【売上高：前期比4.4%減】

- 東京2020に向けた展示会場の使用制限や前期受注した大型プロジェクトに匹敵する案件不足等が影響

【売上総利益：前期比1.6%増】

- 売上総利益率が1.6ポイント上昇

【営業利益：前期比△111百万円】

- 将来の事業成長に向けた投資
- 人的リソース、IT活用、ブランディング活動等へ積極投資

商材別売上高構成

東京2020の影響による展示会出展の売上高減少等により前期比で減収

[単位:百万円]

	2019年3月期		2020年3月期			
	2Q 累計	構成比 (%)	2Q 累計	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)
展示会出展	1,603	26.7	1,375	24.0	△227	△14.2
イベント プロモーション	1,720	28.7	1,525	26.6	△194	△11.3
商談会・ プライベートショー	1,271	21.2	1,138	19.8	△133	△10.5
カンファレンス ・セミナー	292	4.9	369	6.4	+76	+26.1
商環境	581	9.7	734	12.8	+152	+26.2
デジタル・コンテンツ & マーケティング	480	8.0	494	8.6	+14	+3.1
その他	54	0.9	103	1.8	+49	+90.2
合計	6,004	100.0	5,741	100.0	△262	△4.4

【展示会出展】

- 東京2020に向けた展示会場の使用制限の影響で案件数が減少

【イベントプロモーション ／商談会・プライベートショー】

- 前期並の大型イベントが今期は不足
- 採算性を重視しプロジェクト毎の利益確保に努めたことで収益性が向上

【商環境】

- 新規の企業ショールーム等の引合いが増加

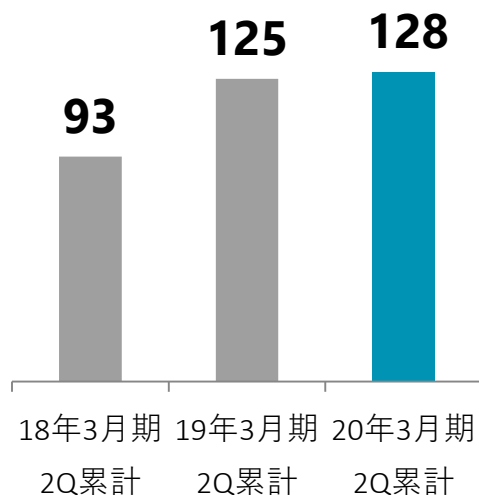
【デジタル・コンテンツ& マーケティング】

- OEMシステム開発（スプラシア）とAIコグニティブ（アイアクト）の引合いが増加

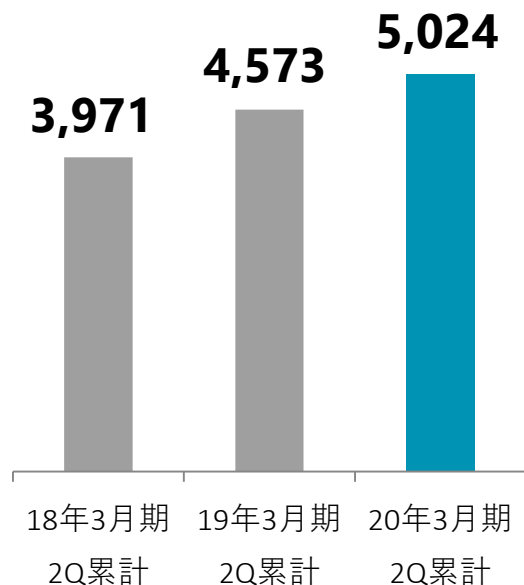
各種指標（単体）

大型案件の増加に伴い、プロジェクト単価が増加

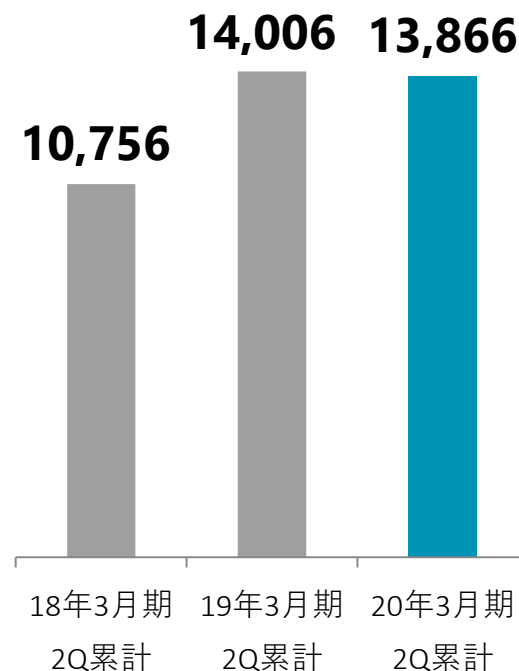
大型（1000万以上）案件数(件)



プロジェクト単価（千円）



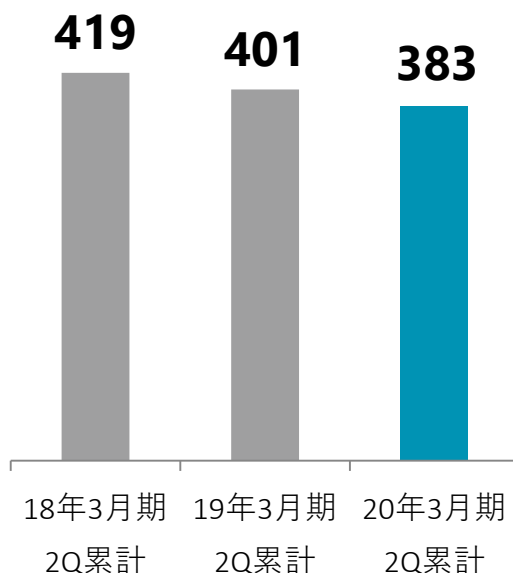
顧客単価（千円）



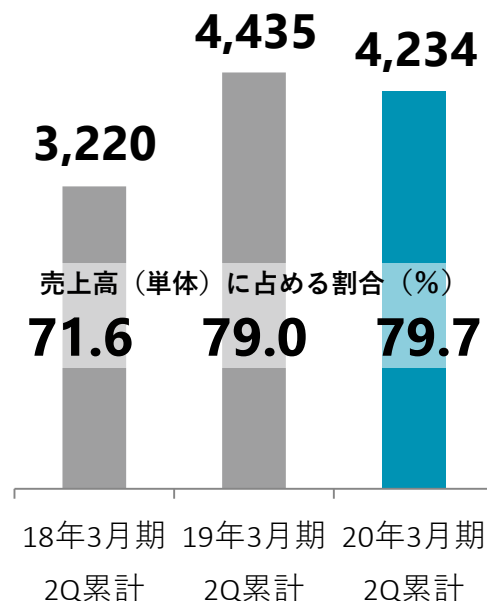
各種指標（単体）

リピート顧客・指名受注の全体の売上高に占める割合は**横ばい**

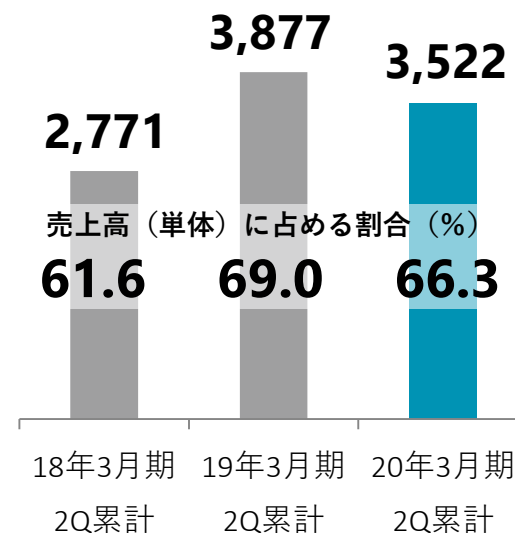
取引社数（社）



リピート顧客売上高（百万円）



指名受注売上高（百万円）



貸借対照表（連結）の概要

単位：百万円

前期末との増減額

	2019年3月期 前期末	2020年3月期 2Q末	増減額		
資産合計	4,067	3,682	△385	【資産】	△ 3 億85百万円
流動資産	3,228	2,870	△357	仕掛品	+ 41百万円
固定資産	839	811	△27	有形固定資産	+ 27百万円
負債合計	3,058	2,593	△464	受取手形及び売掛金	△ 3 億85百万円
流動負債	2,660	2,401	△259	繰延税金資産	△41百万円
固定負債	397	192	△204	【負債】	△ 4 億64百万円
純資産合計	1,009	1,088	+78	有利子負債	+ 2 億 5 百万円
				買掛金	△ 3 億15百万円
				未払法人税等	△ 1 億12百万円
				【純資産】	+ 78百万円
				利益剰余金	+ 62百万円

キャッシュフロー計算書（連結）の概要

当期2Q累計

単位：百万円

	2019年3月期 2Q累計	2020年3月期 2Q累計	増減額		
営業活動による キャッシュ・フロー	△40	△127	△87	【営業CF】	△1億27百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△111	△57	+53	売上債権の増減額	3億85百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	250	154	△96	税金等調整前当期純利益	1億54百万円
現金及び現金同等物の 期首残高	1,140	627	△512	仕入債務の増減額	△3億15百万円
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	98	△31	△129	法人税等の支払額	△1億16百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	1,175	596	△579	【投資CF】	△57百万円
				無形固定資産の取得に よる支出	△39百万円
				有形固定資産の取得に よる支出	△24百万円
				【財務CF】	1億54百万円
				短期借入金の純増減額	5億64百万円
				長期借入金の返済に よる支出	△3億58百万円
				配当金の支払額	△39百万円

受注状況について

受注状況については、前年同時期に対して**堅調に推移**

2020年3月期2Q累計

セグメント名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
リアルエクスペリエンス &コミュニケーション事業	7,208	130.7	4,424	143.1
デジタルエクスペリエンス &コミュニケーション事業	401	88.8	268	95.7
合 計	7,610	<u>127.5</u>	4,693	<u>139.1</u>

※セグメント間の取引については相殺消去しております。上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

TOPICS

設立50周年を記念し、体験を切り口にした自社イベントを開催

Think **Experience** 2019

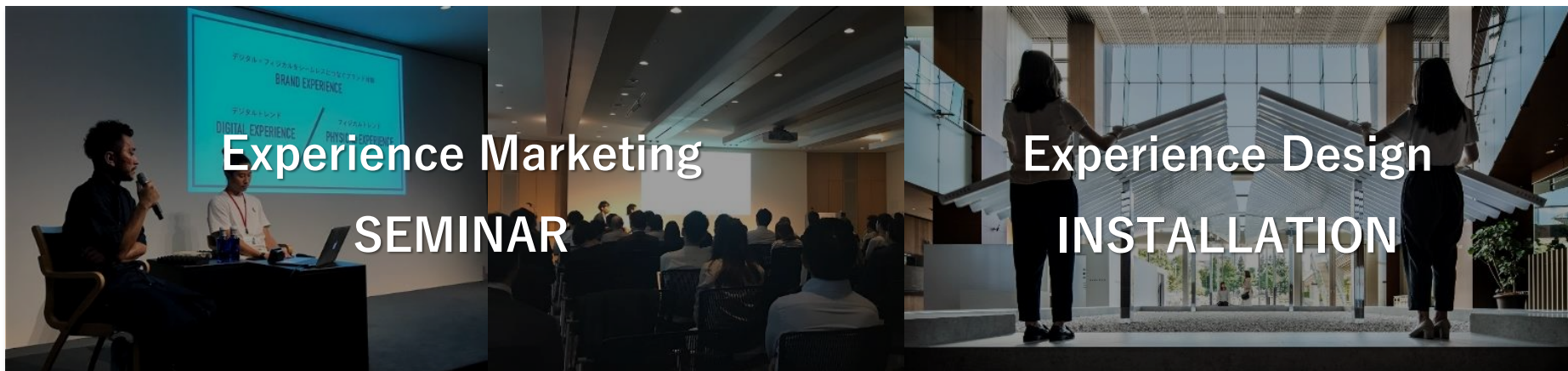
ブランド価値を最大化する

体験の力と未来を提案するセミナー／イベントを開催

設立50周年を機に、世の中に「体験価値」に対する認知と重要性を広め、博展の一般への認知度を高めるとともに、新規顧客の獲得や既存顧客との関係性を深めることを目的にプライベートイベントを開催。

概要：① 体験を切り口にしたプライベートセミナー

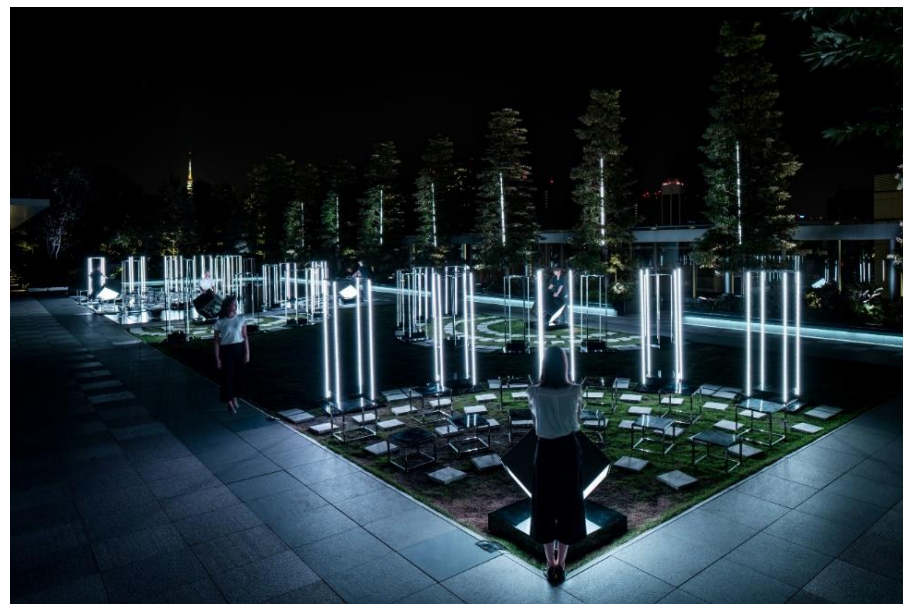
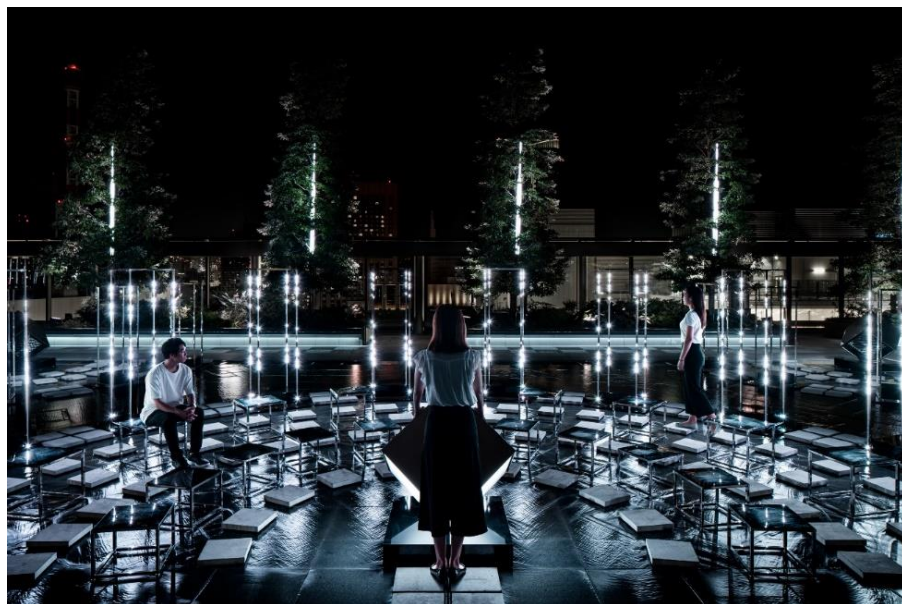
② 体験共創型インスタレーション「光と陰が舞う涼空間 - 舞すだれ」の公開



ROOF TOP ORCHESTRA -音を奏でる庭園-

GINZA SIX

サカナクション・山口一郎氏の『NF』がプロデュース
GINZA SIX主催、光×音×テクノロジーがミックスしたインスタレーションを演出



【開催概要】

場所：GINZA SIX ガーデン（屋上庭園）

主催：GINZA SIX

サウンドプロデュース：NF

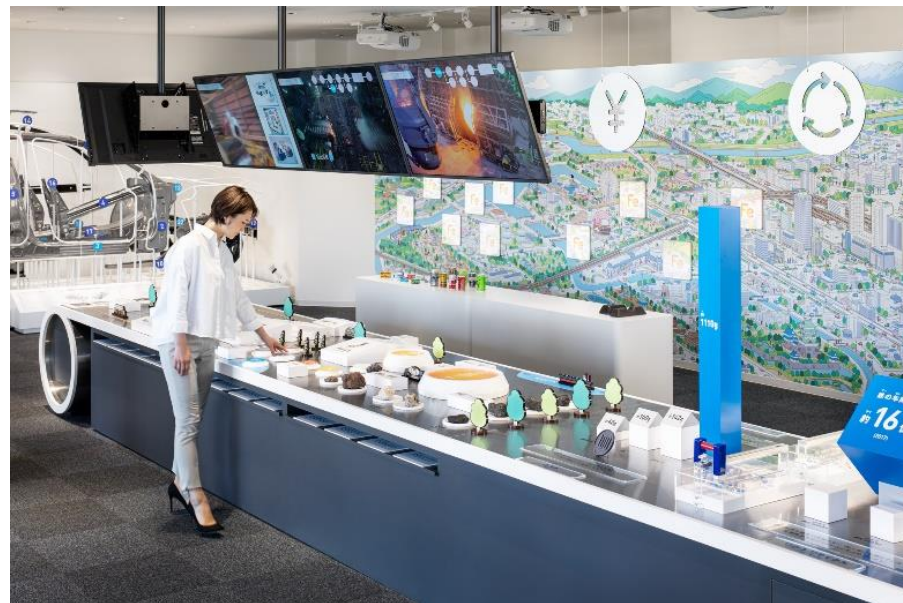
空間演出・制作：博展

G S I X



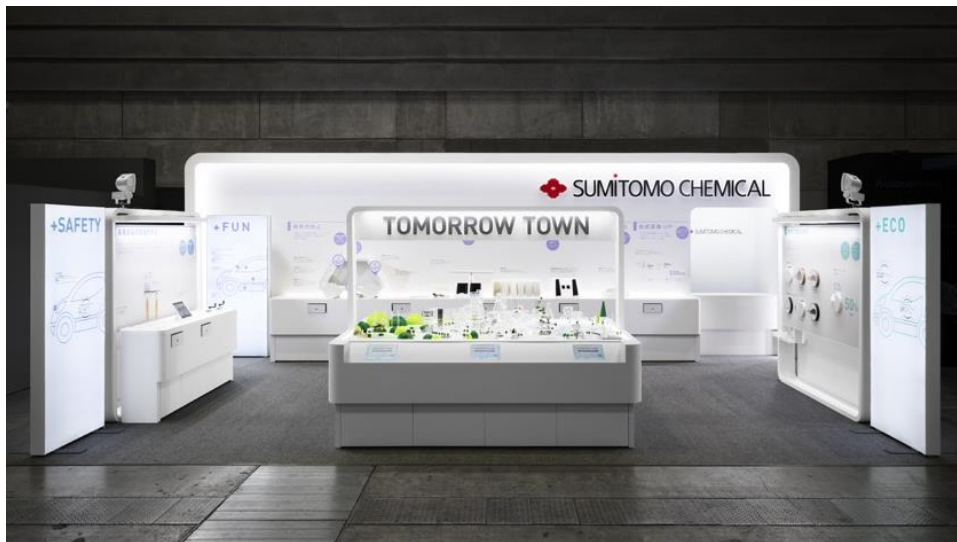
名古屋製鉄所ショールーム NIPPON STEEL NAGOYA WORKS - Fe Library 日本製鉄株式会社

年間約3万人が訪れる工場併設のショールームの改装プロジェクト
「鉄」の強みと可能性に焦点を当てたストーリーを設計し、体験型のショールームへ



人とくるまのテクノロジー展 2019 横浜/名古屋
住友化学株式会社

車の技術展示が多い中「車」に限定することなく、TOMORROW TOWNと題したジオラマと映像で「豊かな未来のモビリティ社会の実現」に取り組む姿勢を表現



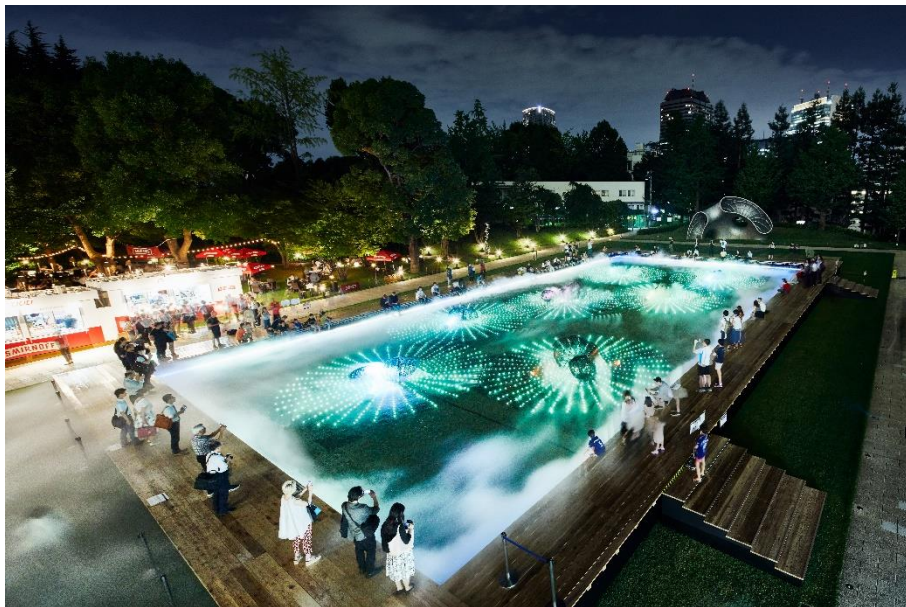
「光と霧のデジタルアート庭園」が2019年度グッドデザイン賞を受賞



GOOD DESIGN
AWARD 2019



日本空間デザイン賞
BEST100



【開催概要】

場所：東京ミッドタウン

事業主体：東京ミッドタウン

分類：公共の建築・空間

受賞企業：博展、WOW、Tokyo Lighting Design

BEST PRACTICES IN TRADE SHOWS AND EVENTS
EXHIBITOR

GOLD



GOLD



NIPPON DISPLAY FEDERATION
一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会

優秀賞

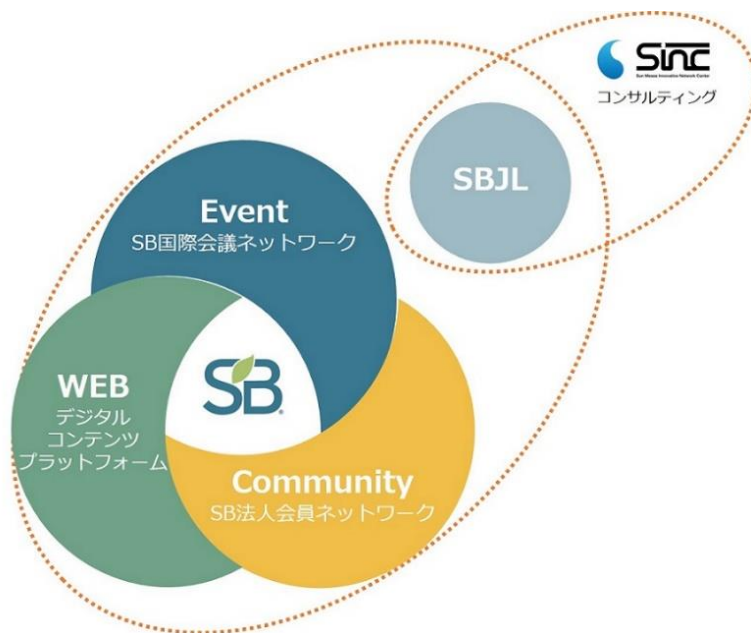


奨励賞



サステナビリティへの取り組みについて

サステナビリティ経営に関する相談サービス『SB Japan Lab』を開始



内閣府認定の「SDGs未来都市」や「自治体SDGsモデル事業」を支援するプログラムも展開

第4回サステナブル・ブランド国際会議 SDGs未来都市の横浜で開催決定



SB 2020 YOKOHAMA

第4回 サステナブル・ブランド国際会議

開催日程 2020年2月19日（水）・20日（木）

開催場所 パシフィコ横浜

<https://www.sustainablebrands.jp/event/sb2020/>

AIコグニティブ、OEMシステム開発で引き合いが増加

株式会社 アイアクト



独自のWeb技術でクライアントの
コミュニケーション課題を解決する事業

ソリューション

Webコミュニケーション
サービス

人工知能・コグニティブ
ソリューション



株式会社 スプラシア



動画編集プラットフォーム・デジタル
サイネージ・WEBアプリ開発などの
ITソリューションサービス

開発プラットフォームを
活用したITサービス開発



SOLUTION

動画領域における自社
アプリケーションサービス提供



PRODUCT

通期業績予想については、**期初予想を据え置き**

単位：百万円

	2019年3月期	2020年3月期		
	実績	予想	増減額	増減率 (%)
売上高	12,873	13,500	626	4.9
営業利益	523	600	76	14.6
経常利益	513	580	66	13.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	77	400	322	418.6

Communication Design®

人と人の、笑顔が創り出す未来へ。

H A K U T E N

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載された株式会社博展の計画・見通し・方針・戦略・意見などのうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた内容に基づいて作成しております。実際の業績に影響を与え得る要素には、事業領域を取り巻く経済情勢、市況、為替の動向など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。そのため、実際の業績はこれらの重要な要素の変動により、見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料に掲載されたコンテンツの正確性については、万全を期しておりますが、その内容に関してはいかなる保証もするものではなく、万一、これにより貴方に損害が生じても一切責任を負いかねます。また、本資料の著作権は、株式会社博展に帰属しており、無断転載・複製することをご遠慮ください。